

特別会計

特別会計とは、地方公共団体が特定目的の事業を行う場合に特定の歳入を特定の歳出にあて、一般会計と区分して経理しているものです。

会 計 名	歳 入	歳 出	差 引 額
土地区画整理	9億8,533万円	9億8,518万円	15万円
公共下水道	7億4,837万円	7億4,785万円	52万円
農業集落排水	6,050万円	6,050万円	0円
宅 地 造 成	6,048万円	6,009万円	39万円
国民健康保険	34億6,913万円	35億1,268万円	▲4,355万円
後期高齢医療	2億3,718万円	2億3,698万円	20万円

公営企業会計

水道事業会計

収益的収支では収入・支出ともに減となりましたが、受水費、工事請負費、委託料等の経費が抑えられ、5,916万円の利益が生じました。

資本的支出では、施設整備計画にもとづいて更新事業を実施しました。支出額は昨年度より減となりました。

収益的	収入	5億8,837万円
	支出	5億2,921万円
資本的	収入	1億3,143万円
	支出	2億7,838万円

病院事業会計

平成28年度は、診療報酬改定に対応するため療養病床機能の見直しを行いました。これにより、医療度が低い慢性期患者の退院が多くなり、療養病床の病床利用率が低下し2,904万円の純損失となりました。

資本的収支の主な支出は、医療機器、電子カルテシステムの購入費等になります。収支額は、ともに昨年度より減額となりました。

収益的	収入	15億1,863万円
	支出	15億4,767万円
資本的	収入	4,630万円
	支出	1億7,309万円

市債の状況

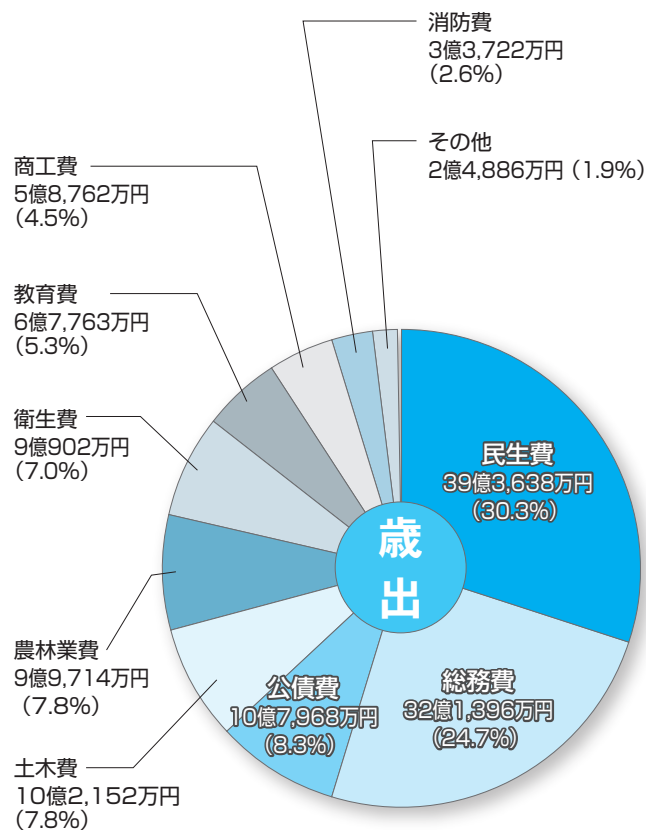
現在高(一般会計)	109億7,355万円
市民1人当たり	553,856円

※市債とは、多額の資金を必要とする事業を行うときに借り入れる資金のことです。なお、返済の財源として将来的に75億円程度、普通交付税で交付される見込みです。

基金の状況

財政調整基金	12億9,781万円
減債基金	14億3,939万円
その他特定目的基金	58億7,796万円
合 計	86億1,516万円

一般会計



市が使ったお金は130億